



最後の著作出来！ 導管がん、余命半年を宣告された

ドクター・中松の遺言書

打ち破る力

稀代の発明家だって、いくどの「壁」にぶち当たってきた ——
最後の本は、困難な時代を生き抜くための人生突破論！



命の焰を燃やして臨む、

ドクター・中松の「最終講義」

「ひとりでも多くの人が、行く手に立ちはだかる強大な壁を打ち破り、自分の目指す山の頂きに、自分自身の足ですくと立って前進してほしい」著者がこの本に込めた願いです。本書は、導管がんで余命宣告を受けたドクター・中松が余命というタイムリミットの中で行う、「最終講義」。並々ならぬ決意と覚悟をもって臨んだ著者渾身の作品であり、次代の核となるすべての人へ向けた「ドクター・中松の遺言書」です。

仕事・人間関係…「壁」にぶち当たった
あなたを救うヒントと金言が満載

会社を奪われ、失意のどん底をさまよった日々。突然の余命宣告。ドクター・中松はいくどとなく困難な「壁」にぶち当たってきました。しかし、絶体絶命のピンチでも、果敢に立ち向かい、逆境を乗り越え、強大な「壁」を打ち破ってきました。そんな著者の経験や人生哲学を綴った本書は、予測困難な時代だからこそ、多くの役立つヒントがあるはずです。

『打ち破る力』発売日／6月23日

定価／1,300円＋税／四六判／並製208頁

内容※抜粋

ひらめきを引き出せる人、ひらめきを遠ざける人／五感と六感だけでなく、「七感」もフル稼働／「開拓×開拓」の成功法則／「失敗しない人」に共通すること／成功1%から100%に大逆転させる方法／人から信頼される最もシンプルな条件／約束の5分前に来る人と、5分後に来る人の格差／「生きた仕事」をしていますか？／ビックデータは創造の敵／人生でただ一度泣いたとき

【著者：中松 義郎】国際創造学者、発明家、作家。

1928年6月26日東京生まれ。'50年、東京大学入学。「学芸大学付属小学校から東京大学まで無遅刻・無欠席」を貫いた。卒業後は三井物産に入社。ANA設立や三井グループの再編成に携わった後、現在の「ドクター中松創研」の前身、「ナカマスコープ株式会社」を設立。「コンピュータ・メモリディスク」などのコンピュータ関連特許と発明件数は3500以上。'14年、導管がんにより、余命宣告を受けたことを発表。現在、ウォルト・ディズニー小児がん病院名誉ドクター、全米がん撲滅名誉会長も務めている。

*お問い合わせはこちらまで*世界文化社 メディアマーケティング部 南 *篠崎

Phone : 03-3262-5153 Fax : 03-3262-5435 media@sekaiunka.co.jp http://twitter.com/sebunmedia